

# 都立竹台高等学校 グランドデザイン（イメージ）

**【生徒／学校の現状】**  
 学習：・基礎学力 ・自主的な学習習慣の未確立  
 生活：・基本的な生活習慣が身に付いていない。 ・規範意識が希薄  
 進路：・キャリア意識が低い。 ・上級学校を初め多岐にわたる進路

**【予想される社会の変化】** 厳しい挑戦の時代。生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等、大きく、急速な社会構造や雇用環境の変化、予測が困難な時代。Society5.0とも呼ばれる新たな時代—進化した人口知能(AI)、IoT—。

**【教育目標】**  
 ①人間性豊かで、互いの人格を尊重し、社会の発展に貢献できる人材を育成する。  
 ②人権尊重の理念を基盤に、生徒が高い「規範意識」をもち、「感謝・礼儀・思いやり」を励行する。  
 ③確かな学力を向上させ、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。  
 ④特別活動、部活動の振興を通して、生徒の心身を鍛える。  
 ⑤生命尊重と安全を常に心がける人間を育てる。

**【学校経営計画 目指す学校像】**  
 教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校

**【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】**

**異なる文化や価値観の先に、豊かな人間関係を築き、新たな価値を創造できる人間**

**【育成すべき資質・能力】**  
 学習：・基礎的・基本的な知識、考える力 ・「やればできた」という成功体験(の積重ね)  
 ・探究心とチャレンジ精神  
 生活：・基本的な生活習慣の定着 ・規範意識の向上 ・多様性の受容、他者尊重の姿勢  
 進路：・ロールモデルの発見 ・ライフデザイン力 ・自主的な行動力

**【東京都教育委員会 指定】**・地域密着型教育活動推進校  
 ・平成30年度アクティブ・ラーニング推進校  
 ・平成30年度「パワーアップハイスクール」  
 ・平成31年度関係機関と連携した防災教育実施校  
**【文部科学省 指定】**・2019年度人権教育研究指定校

**【育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】**

育成すべき資質・能力	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
学びに向かう力 主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会や幸福な人生を切り拓いていくために、学びに向かう力が必要であることを理解している。	自分の思考や行動を客観的に把握し認識することができる。	自ら気付いたことを言語化し、問いを立てることができる。	他者と協働して問いの解決を目指す。	他者と協働して新たな価値を創造し問いの解決を図る。
知識・技能	与えられた基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。	与えられた基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている。	身に付けた知識・技能を活用することができる。	身に付けた知識・技能を他の課題解決にも応用することができる。	自ら課題意識をもって、新たな知識・技能を身に付けようとしている。
思考・判断・表現	物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定できる。	問題の解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行しようとしている。	精査した情報を基に自分の考えを形成し、文章や発言によって表現したり、互いの考えを適切に伝え合ったりすることができる。	多様な考えを理解したり、集団としての考えを形成したりすることができる。	思いや考えを基に構想し、意味や価値を創造していくことができる。
規範意識	社会の一員として法令遵守の意義等を理解している。	公共の場や交通機関におけるルール、マナーを守ることができる。	時間を意識して、行動することができる。	時と場に応じた、身なりや所作が適切にできる。	相手の立場を踏まえた適切なコミュニケーションができる。
人権課題への理解 差別をしない/させない	多様性を理解しようとしている。	相手の立場に立って考えることができる。	自他の違いを尊重し、行動することができる。	自ら差別をしない、他者にも差別をさせない。	ダイバーシティ実現に向け、貢献しようとしている。
豊かな人間性	体験活動や演習を通じて、よりよい生き方を主体的に選択し、行動できる。	日本の伝統・文化とその価値を理解し、その良さを発信することができる。	持続可能な開発目標(SDGs)に掲げられている課題等に関心をもっている。	「自助」「共助」の精神に基づいた行動をとることができる。	自然環境や地域・地球規模等の諸課題について、考え、解決を図ろうとしている。
心身の健康	健康の保持増進の重要性を理解している。	規則正しい生活を心がけている。	基本的な生活習慣が確立している。	健康の保持増進を意識して、睡眠、食事、運動等を行っている。	悩みを相談して解決するなど、心の安定を図っている。
体力	主体的に運動に取り組むことの必要性を理解している。	様々な運動への関心を高め、体験しようとしている。	運動部活動等を通じて、技能の向上や自己の記録に挑戦している。アクティブプラクティス2020目標値達成	「運動をするための体力」「健康に生活するための体力」の向上を図っている。	運動の楽しさや喜びを他と分かち合い、生涯にわたって運動を行おうとしている。

目指すべき  
生徒の将来像

**異なる文化や価値観の先に、豊かな人間関係を築き、新たな価値を創造できる人間**